

**製品名: Hes1 (5S7) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe11988**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:500-1:1000,FC 1:20-1:50
分子量	30kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HES1
別名	HES1; BHLHb39; HHL; HL; Hairy and enhancer of split 1; Hairy homolog; HRY; Hairy homolog (Drosophila); Transcription factor HES-1; Hairy-like protein; HES-1;
遺伝子 ID	3280.0
SwissProt ID	Q14469
免疫原	ヒト Hes1 の合成ペプチド

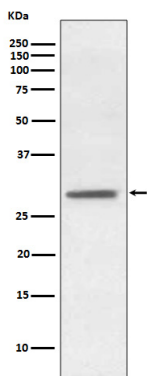
## 背景

HES1 (Hairy and Enhancer of Split 1) は、bHLH 依存性遺伝子の転写を抑制することを主眼とする、塩基性ヘリックス-ループ-ヘリックス (bHLH) 転写因子の HES ファミリーの 7 つのメンバーのうちの 1 つです。HES1 は、分化を促進する遺伝子の転写抑制を介して、胚および成体の幹/前駆細胞の多能性を維持する上で重要な保存された役割を果たすと考えられています。転写に bHLH タンパク質を必要とする遺伝子の転写抑制因子です。MYOD1 および ASH1 の機能を阻害することで、筋形成の負の調節因子として機能する可能性があります。N ボックス モチーフ 5'-CACNAG-3' に高親和性で、E ボックス モチーフ 5'-CANNTG-3' に低親和性で DNA に結合します (類似性による)。DNA 架橋損傷に対する機能的な FA コア複合体の応答において役割を果たす可能性があり、FA コア複合体タンパク質の安定性と核局在、および DNA 損傷に対する FANCD2 のモノユビキチン化に必要です。

## 研究分野

-

## 画像データ



SH-SY5Y 細胞溶解物における Hes1 発現のウェスタン プロット解析。